

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成27年 6月29日	
大分県知事 広瀬 勝貞 殿	
提出者 住 所 大分県臼杵市大字臼杵72番の1 氏 名 臼杵市長 中野 五郎 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0972-63-1111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	臼杵終末処理場
事業場の所在地	大分県臼杵市大字板知屋字大寺浦1257-7
計画期間	平成27年度
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	下水道終末処理施設
② 事業の規模	
③ 従業員数	9名
④ 業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	排出量	10,593 t	t
	(これまでに実施した取組) 消化槽により、減量化を図っている。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	排出量	14,000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、消化槽により減量化を図る。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	10,593 t	t
	(これまでに実施した取組) 脱水機により減量化を図っている。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	14,000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も脱水機により減量化を図る。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	全処理委託量	1,002 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,002 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) セメント原料として再生利用を行っている。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	全処理委託量	1, 200 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1, 200 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後もセメント原料として再生利用を行う。		
※事務処理欄			

管 理 体 制

